

愛媛県伊予郡砥部町立砥部中学校2年

佐々木健伸

「幸せな人生を守るために」

人は、生まれると、幸せを求めて生き続ける存在だと思います。私も好きなことをしたり、様々な義務を果たしたりしていくことで何か幸せを得たいものだと思います。

幸せに生きることは、当然誰にでも平等に与えられた権利であることは言うまでもありません。拉致問題のように人が幸せに生きる権利を奪う犯罪行為は、当然許されない、あってはならないことです。つまり、拉致問題は人権侵害そのものです。

もちろん、世の中には人権侵害はたくさんあります。その中でも拉致はあつという間に相手の幸せや描いていた大切な夢を、そして望んでいた人生を、完全に奪い去ってしまうため、決して許してはならず、解消していかなければならない問題です。

僕には夢があります。教師になることです。しかし、夢に向かおうとした時に、突然連れ去られ、人生が大きくゆがんでしまったら、僕ははっきり言って、死にたくなるかもしれません。しかし北朝鮮によって拉致され、まだ必死に生きている人がたくさんいることを考えると、日本で今生きている私たちが行動しなければならないと思います。その一歩はアニメ「めぐみ」を見ることだと感じました。被害者の一人、横田めぐみさんは、13歳で拉致されました。明るく、まっすぐに毎日を過ごしていたのに、理不尽な拉致によって、何もかも奪われました。ご両親も、娘をとりもどすため40年間もの長い間必死に戦っておられました。家族全員の人生をもめちゃくちゃにする拉致は、余りにも重すぎる問題です。

僕は今14歳で、拉致当時めぐみさんは13歳でした。僕よりも年下の時に無理やり連れ去られるということがどういうことか、想像もつきません。しかし、アニメを見ることで、これが事実なんだとはっきり分かり、拉致に対する怒りと、被害にあわれた方々が一日も早く日本へ帰れるようにしなければという思いが込み上げてきました。

そして、僕には、この問題の ために何ができるか考えました。まずは、家族や友人にも拉致問題について話してみます。中には関心を示さない人もいるでしょうが、少しでもその人たちの理解を深めていけば、何か変わるきっかけになると思います。国連総会でもアメリカのトランプ大統領が拉致について言及しました。拉致問題は世界の問題です。人々がしっかり関心をもっていく力となるため、様々な活動や、現状を理解して、少しずつでも広げていきます。当然僕だけでは何も変えられないでしょうが、何か役に立つ生き方をしたいと思います。

拉致問題以外にも、世界に人権問題はたくさんありますが、僕はこの問題について学習したことで世界中の人が笑顔で生きられる世の中になるよう心から願うようになりました。